

名著「ロングターム・マネジメント」 から学ぶ企業を持続的に成長させる秘訣

目先の利益にとらわれない、名経営者たちが持つ「長期的視点」とは。

▼社長を感わさないでくれ！
と説教された過去

10年後の理想の姿「ビジョン」を定め、ビジョンを実現するための戦略を構築し、戦略を実行していける組織を作っていく。これが私が実現してきたV字回復のセオリーです。今でこそビジョンを作ることは当たり前になりましたが、私が独立した2000年ごろは違いました。10年後なんて誰も予想できない未来のことを語っている暇があれば、明日の売上を上げることを考えよう。これがビジネス界の常識でした。事実、私があるクライアントで10年後のビジョンを作り上げ、社員総会で発表した時のこと。その会社の主要取引先幹部の方から呼び出され、「石原さん、社長を感わさないでくれ。10年後のことよ

▼異端児と言われた名経営者たち

明日のことをサポートしてください」と真剣に叱られました。

名著「ロングターム・マネジメント」では、京セラ・稲盛和夫氏が「フィロソフィ」に基づく経営を掲げたことに対し、パブル前のメディアは懐疑的だったと記されています。パブル崩壊後、目の前の売上や利益に一喜一憂する経営では成長は難しくなり、改めて稲盛氏率いる京セラのフィロソフィ経営が注目を集めました。また、堀場製作所の堀場雅夫氏は、モレッツ社員が称賛される時代に「おもしろおかしく」という社是を掲げています。人にやらされて働くのではなく、自発的に仕事を楽しむ。働き方改革、人的資本経営など、今でこそ当たり前を受け止められる考え方ですが、当時は仕事を楽しむというこの感覚を発する堀場社長は異端児と受けとめられていたそうです。

▼異端児たちに共通する長期的視点

先のクライアントは10年後のビジョンを定めたことで、力を入れるべき事業が明確になりました。ビジョンを自信をもって経営者が語れるようになったことで、懐疑的だった社員たちが一人二人三人と賛同してくれるようになりました。新卒も採用できるようになりました。結果、どんなにもがいてもトントンに

▼成長と持続を両立させることが経営者の仕事

「ゴーイングコンサーン」。つまり、存続し、かつ成長し続けること、これが私が考える企業の究極の使命です。そのためには、目先の売上に固執したり、目の前のトラブルに振り回されていては、この先に何を準備し、何に取り組んでいけばよいかわかりません。現場から少し離れた高台に立ち、この先10年、わが社ほどの道を進むべきか、長期的視点を持つことが、企業を永く成長させられる秘訣なのではないでしょうか。



書籍「ロングターム・マネジメント 短期目線の経営から長期目線の経営へ」日経トップリーダー編者、日経BP刊

撮影/鈴木 智哉 (キリンジイロ)、構成/竹内 徹 (インクデザイン)

『五つ星経営フロー®』そのコツが2時間でまるっとわかるセミナー、開催中です



五つ星経営アカデミー【入門編】

脱ドンブリ経営実践セミナー

こんなお悩みをかかえる中小企業社長にぜひ知ってほしい

- ✓ お金の不安から解消され、本業に専念したい
- ✓ 利益を増やしたいが何から手を付ければよいかわからない

「お金の
ブロックパズル」が
まるっと解決!

開催日時

1月20日⊕ 10時～12時 新大阪
2月17日⊕ 10時～12時 新大阪
3月23日⊕ 10時～12時 新大阪
4月18日⊕ 16時～18時 福岡

受講料：
3,300円 (税込み)

詳しくは
こちら



PRESIDENT'S VISION

<https://presidents-vision.com/>

株式会社プレジデントビジョン

本社 東京都港区高輪3-19-22-204
大阪府大阪府淀川区西中島4丁目5-1
NLC新大阪パワービル4-F
姫路
オフィス 兵庫県姫路市白浜町寺家1丁目177-1 A202
TEL: 079-246-5018

経営のヒントを無料配信中



「社外参謀◆今朝の一言」

メルマガご登録はこちら